

FM/AM コンパクトディスク プレーヤー

取扱説明書

お買い上げいただきありがとうございます。



電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書および別冊の「取り付けと接続」には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。この取扱説明書および別冊の「取り付けと接続」をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。



CDX-2300



警告

安全のために

ソニー製品は安全に十分配慮して設計されています。しかし、電気製品はすべて、まちがった使いかたをすると、火災や感電などにより人身事故になることがあります危険です。事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。

安全のための注意事項を守る

この取扱説明書および別冊の「取り付けと接続」の注意事項をよくお読みください。

道路交通法に従って安全運転する

運転者は道路交通法に従う義務があります。前方注意をおこたなど、安全運転に反する行為は違法であり、事故やけがの原因となることがあります。

- 運転者は走行中に操作をしない。
- 車外の音が聞こえる程度の音量で聞く。

定期的に点検する

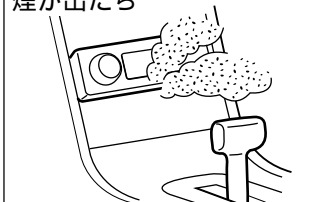
1年に1度は、電源コードに傷みがないか、振動により配線がはずれていないか、接続部分が車体と接触していないか、などを点検してください。

故障したら使わない

動作がおかしくなったり、キャビネットや電源コードなどが破損しているのに気づいたら、すぐにお買い上げ店またはソニーサービス窓口へ修理をご依頼ください。

万一、異常が起きたら

変な音・においがしたら、
煙が出たら



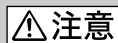
- ① 安全な場所に車を止める
- ② 電源を切る
- ③ お買い上げ店またはソニーサービス窓口へ修理を依頼する

警告表示の意味

取扱説明書および「取り付けと接続」、製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。



この表示の注意事項を守らないと、火災や感電などにより死亡や大けがなど人身事故の原因となります。



この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。

注意を促す記号



火災



感電

行為を禁止する記号



禁止



分解禁止

目次

⚠警告・⚠注意	4
はじめに	6
まず、本機をリセットする	6
時計を合わせる	7
各部のなまえ	8
CD・ラジオの聞きかた	10

CD

繰り返し聞く （リピート再生）.....	12
曲順を変えて聞く （シャッフル再生）.....	13

ラジオ

放送局を自動で登録する	14
特定の放送局を登録する	16
音のバランスや音質を設定する （バランス/フェーダー） （バス/トレブル）.....	17

その他の操作

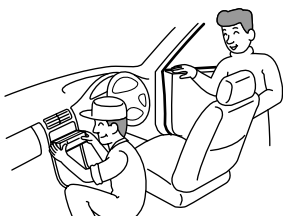
重低音を強調する	18
ボタン操作音を消す	19
イグニッションキーにACC（アクセ サリー）ポジションのない車でお使 いになる場合 （パワーセレクトOFF機能）.....	20
使用上のご注意	21
故障かな?	22
CDのエラー表示	24
保証書とアフターサービス	25
主な仕様	26
索引	27



下記の注意事項を守らないと**火災・感電**により**死亡**や**大けが**の原因となります。

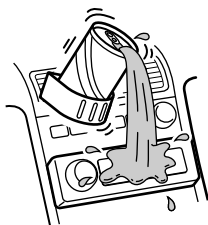
取り付けはお買い上げ店に依頼する
本機の実装には専門知識が必要です。

万一、ご自分で取り付けるときは、別冊の
「取り付けと接続」の説明に従って、正し
く取り付けてください。正しい取り付けを
しないと、火災や感電の原因となります。



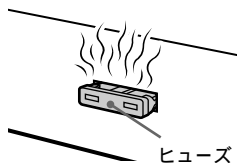
内部に水や異物を落とさない

水や異物が入ると火災や感電の原因となり
ます。万一、水や異物が入ったときは、す
ぐに電源を切り、お買い上げ店またはソ
ニーサービス窓口にご相談ください。

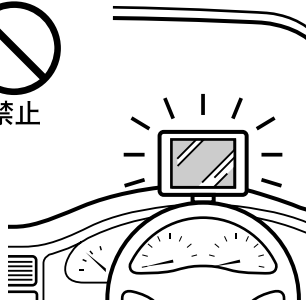


規定容量のヒューズを使う

ヒューズを交換するときは、必ずヒューズ
に記された規定容量のアンペア数のものを
お使いください。規定容量を越えるヒュー
ズを使うと、火災の原因となります。



前方の視界を妨げる場所に、ディス
プレイやモニターを取り付けない
前方の視界の妨げになると、事故やけがの
原因となります。また、取り付け場所
が、助手席用エアバッグシステムの動作の
妨げにならないことを確認してください。



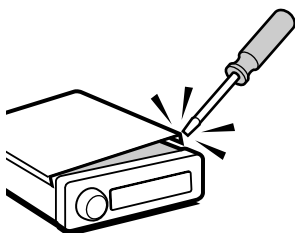
分解や改造をしない

火災や感電、事故の原因となります。

内部の点検や修理はお買い上げ店または
ソニーサービス窓口にご依頼ください。



分解禁止



注意

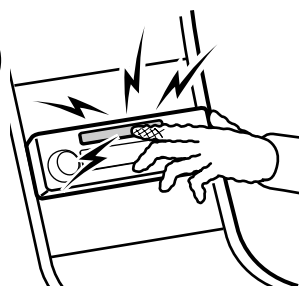
下記の注意事項を守らないと**けが**をしたり**自動車に損害**
を与えたりすることがあります。

ディスク挿入口に手を入れない

内部で手をはさまれ、けがの原因となる
ことがあります。



禁止

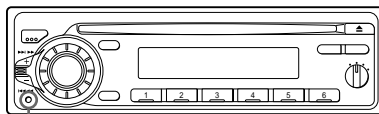


はじめに

本機はCDとラジオのメディアに対応。

まず、本機をリセットする

初めて使うときや、自動車のバッテリーを交換したときは、リセットボタンをつま揚子の先などで押す。ただし、針のような物で強く押すと故障の原因となります。



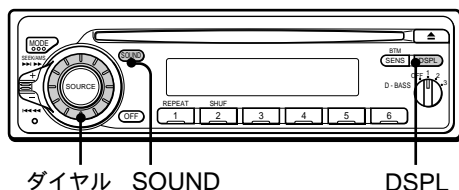
リセットボタン

ご注意

- リセットボタンを押すと、時刻などの登録した内容が消える場合があります。その場合は、登録し直してください。
- リセットボタンを押してから10秒間はCDを入れないでください。リセットされないことがあります。その場合は、もう一度リセットボタンを押してください。
- リセットボタンを押すと、自動的にモーションディスプレイ(10、15ページ)が表示されます。

時計を合わせる

本機は12時間表示です。



時計

ご注意

パワーセレクト機能をOFFにしている場合は、SOURCEボタンを押して電源を入れてから時計を合わせてください。電源を入れるには、SOURCEボタンを押してラジオを選びます。

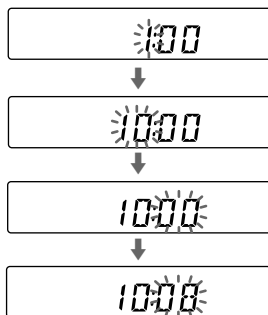
1 車のイグニッションキーをONにする。

2 DSPLボタンを2秒以上押す。

① ダイヤルを回して「時」を合わせる。

② SOUNDボタンを押す。

③ ダイヤルを回して「分」を合わせる。

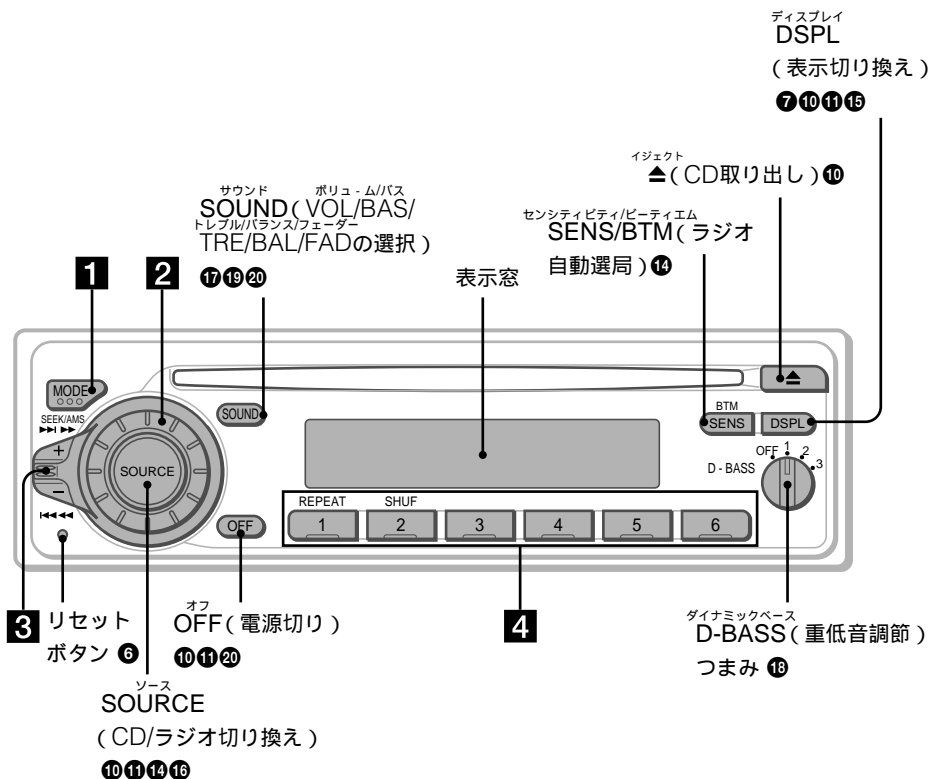


3 DSPLボタンを押す。

時計がスタートします。

各部のなまえ

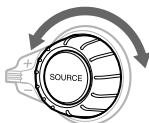
くわしい説明は●内のページをご覧ください。



1 モード MODEボタン

チューナー
TUNER FM1、FM2、AM切り
換え ⑪⑬⑯

2 ボリューム/バス/トレブル/バランス/フェーダー VOL/BAS/TRE/BAL/FAD(音量調節) ダイヤル ⑦⑩⑪⑰



音量調節	小さく	大きく
------	-----	-----

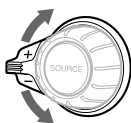
バス(低音)	弱まる	強まる
--------	-----	-----

トレブル(高音)	弱まる	強まる
----------	-----	-----

バランス	左へ	右へ
------	----	----

フェーダー	後ろへ	前へ
-------	-----	----

3 シーク/エー・エム・エス SEEK/AMS(頭出し/ラジオ選局) ⑩⑪⑮⑯



ラジオ	周波数の低い 放送局へ (押し続ける)	周波数の高い 放送局へ (押し続ける)
-----	---------------------------	---------------------------

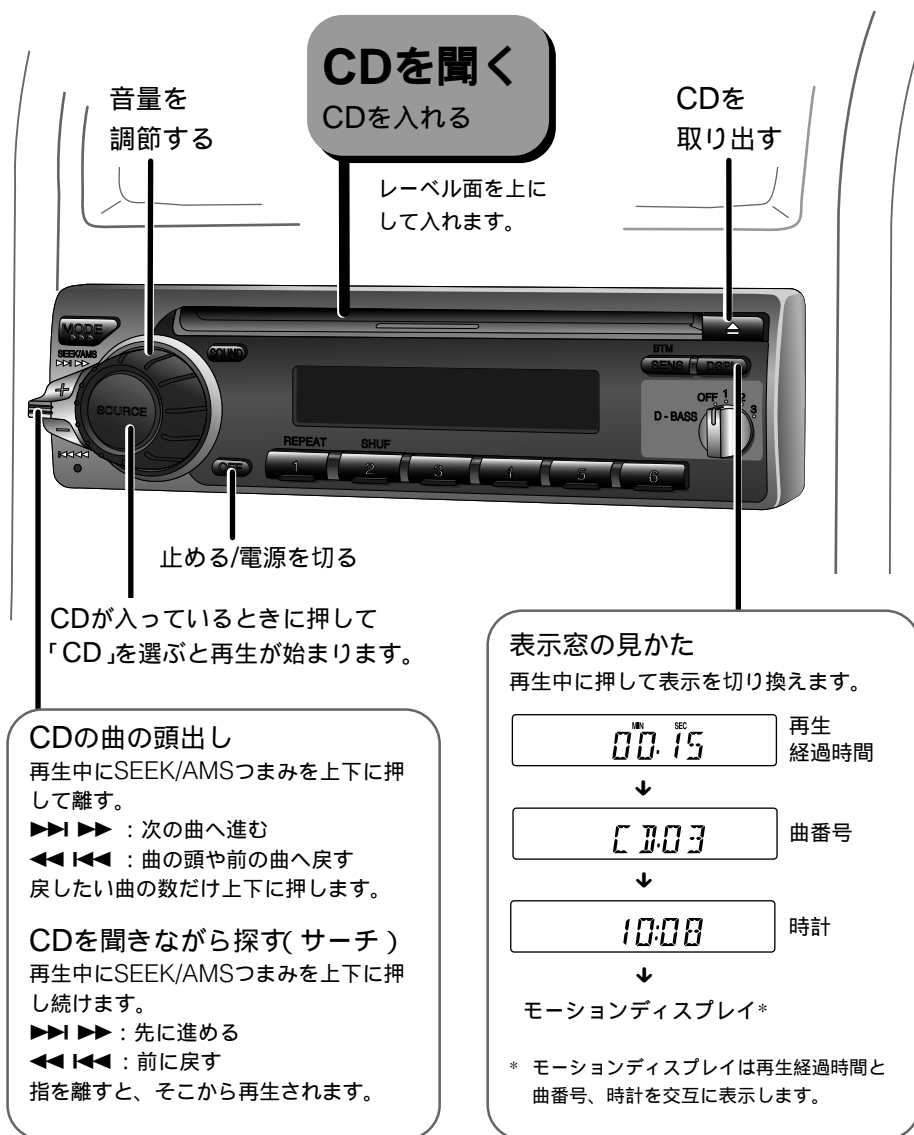
CD	前の曲へ 早戻し (押し続ける)	次の曲へ 早送り (押し続ける)
----	------------------------	------------------------

4 数字(1~6)ボタン

ラジオ 放送局の登録/選択 ⑪⑭⑯

CD	1 REPEAT-リピート再生 ⑫
	2 SHUF-シャッフル再生 ⑬

CD・ラジオの聞きかた



本機は8cmCDがそのまま再生できます。

8cmCDにシングルアダプターをつけて再生すると誤動作することがありますので使用しないでください。

ラジオを 聞く

1 ラジオ受信 にする

2 FM1, FM2 またはAM を選ぶ

表示を
切り換える



電源を切る

音量を調節する

3 聞きたい 放送局を選ぶ

自動選局で受信する

SEEK/AMSつまみを上下に押して離します。自動的に受信すると止まります。

上に押す→ 高い周波数へ

下に押す→ 低い周波数へ

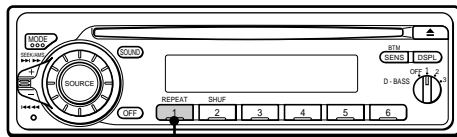
聞きたい放送局がわかっているときは、その放送局の周波数になるまでSEEK/AMSつまみを上下に押し続けます。

数字ボタンに登録してあるときに選ぶことができます。くわしくは14、16ページをご覧ください。

繰り返し聞く

(リピート再生)

1曲のみを繰り返し聞くことができます。



数字ボタン1

再生中に数字ボタン1 (REP) を押して「REP」を表示させる。

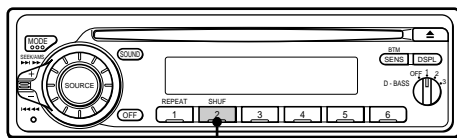
リピート演奏が始まります。

リピート再生をやめるには
もう一度数字ボタン1 (REP) を押して、「REP」表示を消します。

曲順を変えて 聞く

(シャッフル再生)

再生中のディスク全曲の曲順を変えて聞くことができます。



数字ボタン2

再生中に数字ボタン2 (SHUF) を押して「SHUF」を表示させる。

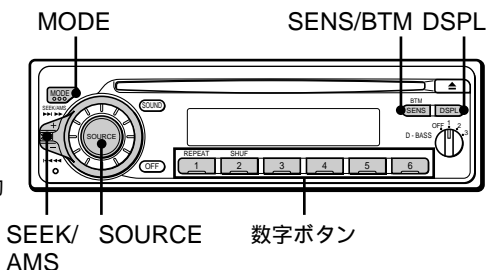
シャッフル演奏が始まります。

シャッフル再生をやめるには
もう一度数字ボタン2 (SHUF) を押して「SHUF」表示を消します。

C
D

放送局を自動で登録する

受信できる放送局を数字の1～6ボタンに自動的に登録します。FMバンドで12局、AMのバンドで6局を登録できます。



ご注意

- 放送局の数が少ない場合や電波が弱いときは、登録されないことがあります。
- 表示窓に登録番号が表示されていたときは、それ以降の数字ボタンに放送局が登録されます。

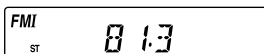
- 1 SOURCEボタンを押してラジオ受信にする。**
押すたびにCD↔TUNERと切り換わります。
- 2 MODEボタンを押して登録したい放送局のバンドに切り換える。**
押すたびにFM1→FM2→AMと切り換わります。
- 3 SENS/BTMボタンを「MEM」が表示されるまで押す。**
「MEM」(メモリー)表示が点滅し、選んだバンドの中で受信状態の良い放送局が周波数の順に数字ボタンに登録されます。

登録した放送局を聞くには

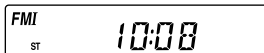
- 1 SOURCEボタンを押してラジオ受信にする。**
押すたびにCD↔TUNERと切り換わります。
- 2 MODEボタンを押して「FM1」、「FM2」または「AM」にする。**
- 3 聞きたい放送局の数字ボタン(1～6)を押す。**

表示窓の見かた

DSPLボタンを押して表示を切り換えます。



放送局の周波数



時計



ちょっと一言

モーションディスプレイは放送局の周波数と時計を交互に表示します。

モーションディスプレイ

旅先などで、登録した放送局が受信できないとき（自動選局を使う）

SEEK/AMSつまみを上下に押して離します。自動的に放送局を探し始め、受信すると止まります。聞きたい放送局が受信できるまで繰り返します。

- 聞きたい放送局がわかっているときは、その放送局の周波数になるまでSEEK/AMSつまみを上下に押し続けます。
- 自動選局がたびたび止まってしまうときは、ローカル受信にすると、比較的電波の強い放送局だけを受信します。

ラジオ受信中に、SENS/BTMボタンを繰り返し押して、「LCL」の表示にする。

ふつうの受信に戻すには

SENS/BTMボタンを繰り返し押して「LCL」の表示を消します。

ちょっと一言

聞きたい放送局がわかっているときは、その放送局の周波数になるまでSEEK/AMSつまみを上下に押し続けます。

ステレオ放送が聞きにくいとき

ステレオ放送を受信すると「ST」と表示されます。放送が聞きにくいときは、音をモノラルにすると聞きやすくなります。

SENS/BTMボタンを繰り返し押して、「MONO」の表示にする。

ふつうの受信に戻すには

SENS/BTMボタンを繰り返し押して「MONO」の表示を消す。

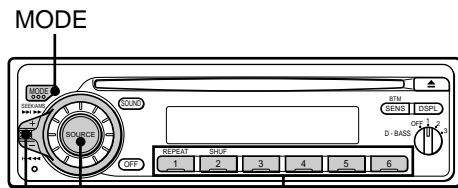
特定の放送局を登録する

放送局を自動登録(14ページ)したあと、空いている数字ボタンに他の放送局を追加登録できます。

道路交通情報(AM1,620kHzまたはAM1,629kHz)を登録しておくとう便利です。

ご注意

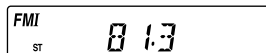
すでに登録してある数字ボタンに同じバンドの他の放送局を登録すると、前の放送局は消えます。



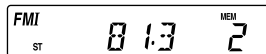
1 SOURCEボタンを押してラジオ受信にする。

2 MODEボタンを押して、登録したい放送局のバンドに切り換える。

3 SEEK/AMSつまみを上下に押して、登録する放送局を受信する。



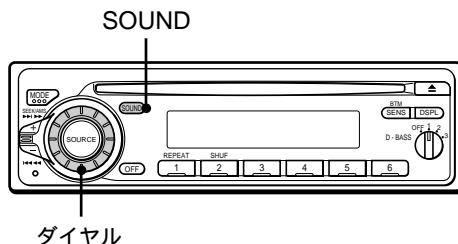
4 登録したい数字ボタンを「MEM」が表示されるまで押す。



押した数字ボタンの番号が表示され、このボタンに選んだ放送局が登録されます。

音のバランスや音質を設定する

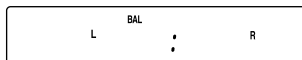
(バランス/フェーダー)
(バス/トレブル)



出力バランスを調節する

前後と左右のスピーカー出力のバランスを別々に調節することができます。

- 1 SOUNDボタンを繰り返し押しして、「BAL」または「FAD」にする。



バランス調節モード

左右を調節する「BAL」にする。

前後を調節する「FAD」にする。

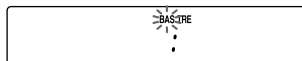
- 2 ダイヤルを回して出力バランスを調節する。

3秒後に通常のモードに戻ります。

音質を設定する

BAS(低音)とTRE(高音)はソースごとに調節できます。

- 1 SOUNDボタンを繰り返し押しして、「BAS」または「TRE」を点滅させる。



バス調節モード

低音を調節する「BAS」にする。

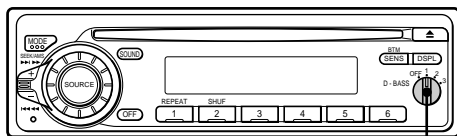
高音を調節する「TRE」にする。

- 2 ダイヤルを回して音質を調節する。

3秒後に通常のモードに戻ります。

重低音を強調する

D-BASS機能(ダイナミックベース)は低音域をシャープに増幅するため、従来の低音強調機能よりも同じ音量でクリアな力強い低音を楽しめます。



D-BASS

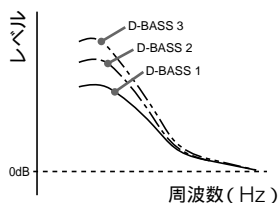
ご注意

音量によっては低音が歪むことがあります。このときはD-BASSつまみや音量を聞きやすいように調整してください。

D-BASSつまみで低音を調節する

D-BASSつまみを1~3に合わせます。

数字が大きいほど低音が強調されます。

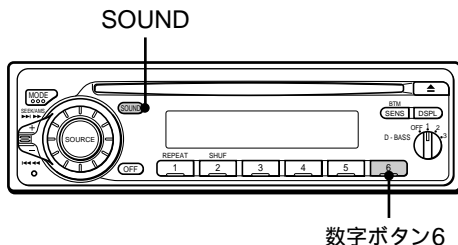


通常に戻すときは

D-BASSつまみを「OFF」に合わせてください。

ボタン操作音を消す

操作ボタンを押したときの「ピッ」という音を消すことができます。



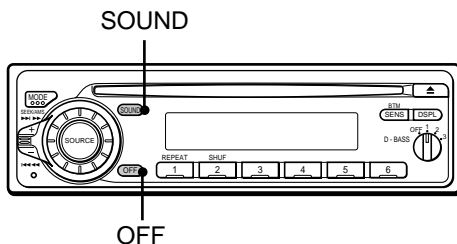
SOUNDボタンを押しながら数字ボタン6を押す。

再び操作音が出るようにするには
もう一度SOUNDボタンを押しながら数字ボタン6を押す。

イグニッションキーにACC (アクセサリー)ポジションのない 車でお使いになる場合

(パワーセレクトOFF機能)

本機の電源OFF時に時計を表示させないように設定することができます(パワーセレクトOFF機能)。車のイグニッションキースイッチにACC(アクセサリー)ポジションがない場合は、パワーセレクトOFF機能を設定しないままお使いになると、本機の電源が切れずにバッテリー上がりの原因になります。



ご注意

リセットボタンを押すとパワーセレクトOFF機能は解除されますので、もう一度設定しなおしてください。

パワーセレクトOFF機能を設定する

SOUNDボタンを押しながらOFFボタンを押す。

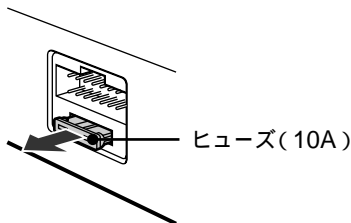
使用上のご注意

本体の表面を傷めないために

本体表面に殺虫剤やヘアスプレーがかかったり、防虫剤などの薬品やゴム、ビニール製品が長時間接触しないようにしてください。本体表面が変質、変形したり、塗装がはげたりすることがあります。

ヒューズについて

ヒューズを交換するときは、必ずヒューズに記してある規定容量（アンペア数）のヒューズをお使いください。規定容量以上のヒューズや針金で代用すると故障の原因となるだけでなく大変危険です。



結露について

寒いときにヒーターをつけた直後など、CD/MDプレーヤー内部の光学系のレンズに露（水滴）が生じることがあります。このような現象を結露といいます。

結露したままですとレーザーによる読み取りができず、CD/MDプレーヤーが動作しないことがあります。

周囲の状況にもよりますが、CD/MDを取り出して放置しておけば約1時間ほどで結露が取り除かれ、正常に動作するようになります。もし何時間経過しても正常に動作しない場合はアフターサービスにお申し付けください。

CDについて

- CDの汚れやゴミ、キズ、そりなどが音とびなど誤動作の原因となることがあります。いつまでも美しい音で楽しめるように次のことにご注意ください。
- 紙などを貼ったり、傷つけたりしないでください。



記録面に触れないように持つ。



禁止

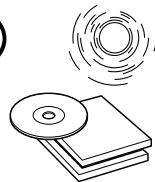


ディスクに紙などを貼らない。
キズを付けない。

- 直射日光が当たるところなど高温の場所、湿度の高いところには置かないでください。



禁止



- 再生する前に、再生面についてホコリやゴミ、指紋などを別売りのクリーニングクロスで矢印の方向へふき取ってください。



- ペンジン、アナログ式レコード盤用のクリーナーは使用しないでください。静電気防止剤なども、逆にCDを傷めることがありますので使用しないでください。
- CDにセロハンテープやレンタルCDのラベルなどののりがはみ出したり、はがしたあとのあるものはお使いにならないでください。そのまま本機で使用すると取り出せなくなったり、故障の原因となることがあります。
- 本機ではCD（円形ディスク）のみお使いいただけます。円形以外の特殊な形状（星形やハート型など）をしたディスクを使用すると、本機の故障の原因となることがあります。

故障かな？

下記の処置を行っても効果がないときは、接続に問題があるか、故障と考えられます。
お買い上げ店またはお近くのソニーサービス窓口にご相談ください。

	症状	原因・処置
共通	音が出ない。	<ul style="list-style-type: none">• 音量を上げてください。• スピーカー接続時：フェーダーの設定が正しくない。 2スピーカーで聞くときは、スピーカーバランスをフロント、あるいはリア側にしてください。
	電源OFF時に時計表示にならない。	<ul style="list-style-type: none">• パワーセレクトOFF機能(20ページ)が設定されている。 → リセットボタンを押してパワーセレクトOFF機能を解除してください(アクセサリポジションのある車のみ)。
	メモリーの内容が消えてしまった。	<ul style="list-style-type: none">• リセットボタンを押した。• 動作電源コードまたはバッテリーを外した。• 電源コードが正しく接続されていない。
	ボタンを押したときの「ピッ」という音が出ない。	<ul style="list-style-type: none">• 「ピッ」という音が出ない設定になっている。 → ボタン操作音の設定(19ページ)をしてください。
	ディスクが入らない。 ディスクを入れてもすぐに出てくる。	<ul style="list-style-type: none">• すでに別のディスクが入っている。• ディスクを誤った向きに入れようとしている。 → レーベル(ラベル)面を上にして入れてください。
CD	音がとぶ。 音が途切れる。 音が割れる。	<ul style="list-style-type: none">• CDが汚れている。 → ディスクをクリーニングしてください。• ディスクが傷ついている。• 本機の取り付け角度が60°を越えている。• 本機が正しく固定されていない。

症状	原因・処置
<div data-bbox="90 422 120 566" data-label="Page-Header">ラジオ/テレビ</div> 受信できない、 雑音しか出ない。	<ul style="list-style-type: none"> • パワーアンテナコントロールコード（青色）または、アクセサリ電源（赤色）を、純正アンテナブースターの電源供給コード（車両側）に接続してください。リアまたは、サイドガラスに内蔵しているプリント線状のFM/AMアンテナの場合です。くわしくは、お買い上げ店にご相談ください。 • カーアンテナとの接続を確認してください。 • オートアンテナが上がっていない。→ パワーアンテナコントロールリードの接続を確認してください。 • 周波数を確認してください。
SEEK/AMSつまみを上下に押しても聞きたい放送局で止まらない。	<ul style="list-style-type: none"> • 「LCL」と表示されている場合は電波の強い周波数しか受信しません。 → 表示を消してください（15ページ）。 • 電波が弱くて自動選局できない。 → SEEK/AMSつまみを上下に押し続けて周波数を合わせてください。

CDのエラー表示

本機が誤動作すると、アラーム音が鳴り、エラー表示が5秒間点滅します。

エラー表示	原因	処置
E-04	ディスクが裏返しになっている。	ディスクを正しく入れ直す。
	CDが汚れている。	CDをクリーニングする。
E-99	何らかの原因で動作しない。	本機のリセットボタンを押す。

保証書とアフターサービス

保証書（別に添付）

保証書は、所定事項の記入をお確かめのうえ、お買い上げ店からお受け取りください。内容をよくお読みのあと、大切に保管してください。

保証期間

お買い上げ日より1年間です。

アフターサービス

修理を依頼される前に「故障かな？」の項目に従って、故障かどうかをお調べください。直らないときは、お買い上げ店、またはお近くのサービス窓口（別紙）にご相談ください。

保証期間中

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。

保証期間を過ぎたら

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

部品の保有期間

この製品の補修用性能部品（機能を維持するために必要な部品）を、製造打ち切り後最低6年間保有しています。

主な仕様

CDプレーヤー部

SN比	80dB
周波数特性	5 ~ 20,000Hz
ワウフラッター	測定限界以下

チューナー部

FM	
受信周波数	76 ~ 90MHz (テレビ1 ~ 3ch)
中間周波数	10.7MHz
実用感度	15dBf
周波数特性	30 ~ 15,000Hz
実効選択度	75dB (400kHz)
SN比	65dB (ステレオ) 68dB (モノラル)
ひずみ率 (1kHz)	1.5% (ステレオ) 1.0% (モノラル)
ステレオセパレーション	35dB以上 (1kHz)
AM	
受信周波数	522 ~ 1,629kHz
中間周波数	10.71MHz/450kHz
実用感度	30 μ V

アンプ部

適合インピーダンス	4 ~ 8
最大出力	40W \times 4 (4 負荷 1kHz)

電源部、その他

電源	DC12Vカーバッテリー (マイナスアース)
出力端子	アンテナコントロール アンプコントロール
入力端子	ATT入力端子 (ナビ用)
本体寸法	約178 \times 50 \times 185mm (幅 / 高さ / 奥行き)
取付寸法	約182 \times 50 \times 162mm (幅 / 高さ / 奥行き)
質量	約1.2kg
付属品	取り付け/接続部品 (一式) 取扱説明書 (一式) ソニーご相談窓口のご案内 (1) 保証書 (1)
別売品	CDクリーニングキット CDM-3K

本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

索引

五十音順

ア、カ行

エラー表示	25
音量	10、11

サ行

シャッフル	13
ステレオ放送	15
スピーカーバランス	17

タ、ナ行

ダイナミックベース	18
登録	
自動登録	14
ラジオ局	16
時計	7
トレブル	17

ハ、マ、ヤ行

バス	17
バランス	17
パワーセレクト機能	20
ヒューズ	21
表示窓	
CD	10
ラジオ	15
フェーダー	17
ボタンの操作音	19

ラ、ワ行

ラジオ	11、14～16
自動選局	15
登録	14、16
リセット	6
リピート	12

アルファベット順

CD	10、12～13
D-BASS	18
REP	12
SHUF	13

Sony  line <http://www.world.sony.com/>

「Sony online」は、インターネット上のソニーのエレクトロニクスとエンターテインメントのホームページです。

ソニー株式会社 〒141-0001 東京都品川区北品川6-7-35
お問い合わせはお客様ご相談センターへ ●東京(03)5448-3311 ●名古屋(052)232-2611 ●大阪(06)6539-5111